

## 令和5年度 学校生活のふりかえりアンケート

横浜市立二つ橋高等特別支援学校 教務部

先日、生徒のみなさんにお願ひしました学校生活のふりかえりアンケートの集計結果を報告します。、来年度以降もより充実した学校にしていきたいと思ひます。みなさんのご協力もよろしくお願ひします。

## 【評価の説明】

A：そう思う

B：どちらかというと思う

C：どちらかというと思わない

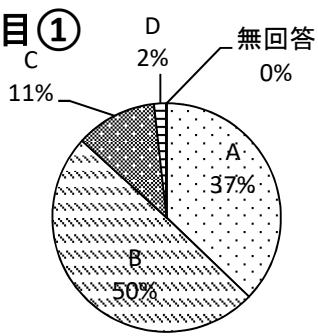
D：思わない

| No. | 質問内容   | A  | B  | C  | D | 無回答 |
|-----|--|----|----|----|---|-----|
| 1   | 先生たちは、あなたのよいところをのばし、課題は解決できるように支援していると思ひますか。             | 42 | 56 | 13 | 2 | 0   |
| 2   | 一般教科(職業以外)の授業ではiPadなどを使って、自分から学べるようになってきていると思ひますか。       | 46 | 51 | 10 | 4 | 0   |
| 3   | あなたは職業の授業を通して、働くための力を身につけることができますか。                      | 38 | 63 | 11 | 1 | 0   |
| 4   | あなたは自分のできることに一所懸命に取り組み、充実した学校生活を送っていますか。                 | 39 | 61 | 10 | 3 | 0   |
| 5   | あなたは他人を思いやる気持ちを大切にしていますか。                                | 54 | 48 | 8  | 2 | 0   |
| 6   | 将来の進路や生活の仕方について、あなたは自分の考えをもつことができますか。                    | 41 | 61 | 11 | 0 | 0   |
| 7   | あなたは将来の自分の健康を維持したり、体力を向上させたりするための努力をしていますか。              | 37 | 57 | 16 | 3 | 0   |
| 8   | 本校のホームページの内容は充実していると思ひますか。                               | 24 | 59 | 21 | 8 | 0   |
| 9   | 事前学習を通して、あなたは何のために会社の実習や見学に行くのか、また、その時、どうしたらよいかがわかりましたか。 | 43 | 64 | 5  | 1 | 0   |
| 10  | 職場見学や現場実習は働く力をつけることの役に立っていますか。                           | 63 | 48 | 2  | 0 | 0   |
| 11  | あなたはクラス内や学校内で安心して生活を送ることができますか。                          | 38 | 53 | 17 | 5 | 0   |
| 12  | あなたは自分の思っていることや悩んでいることなどを担任や他の先生に話すことができますか。             | 45 | 40 | 20 | 8 | 0   |

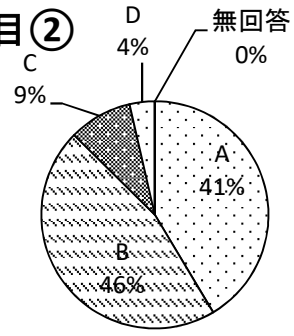
回答数 113

生徒集計結果グラフ

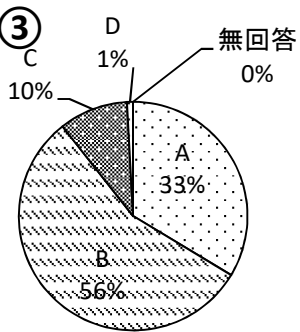
評価項目①



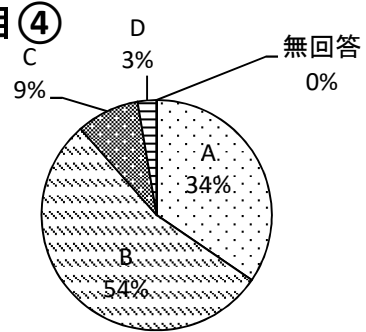
評価項目②



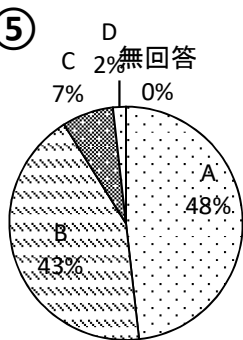
評価項目③



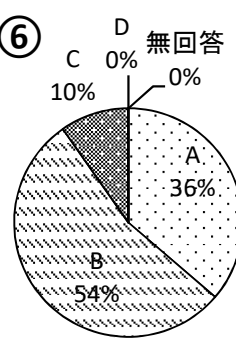
評価項目④



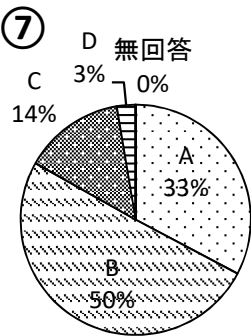
評価項目⑤



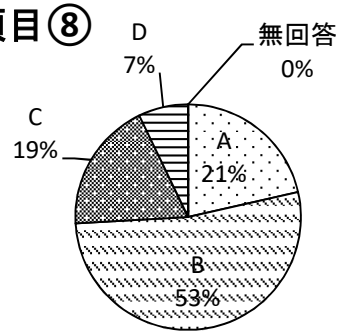
評価項目⑥



評価項目⑦

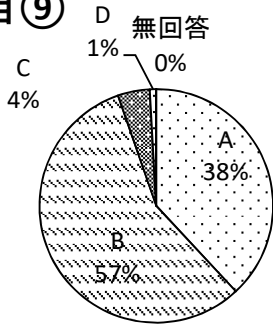


評価項目⑧

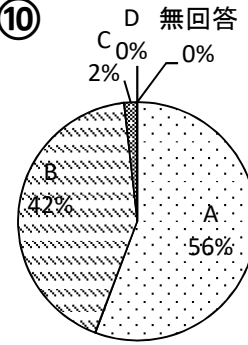


生徒集計結果グラフ

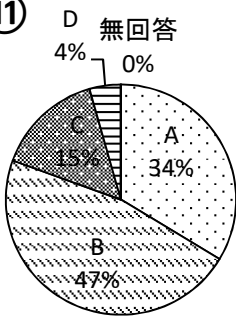
評価項目⑨



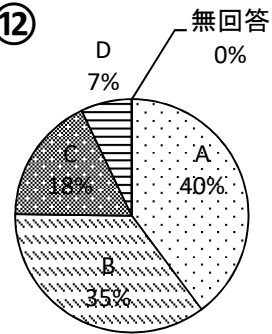
評価項目⑩



評価項目⑪



評価項目⑫



保護者 様

横浜市立二つ橋高等特別支援学校  
校長 福島 豊

## 令和5年度 学校評価保護者アンケート集計結果

向春の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

先日お願いいたしました中期学校経営方針（令和4年～令和6年）についてのアンケートに対して、保護者の方にご回答いただきありがとうございます。アンケート結果は学校評価に使用させていただくとともに、次年度の重点課題設定の参考にさせていただきます。今後とも、ご協力よろしくお願いいたします。

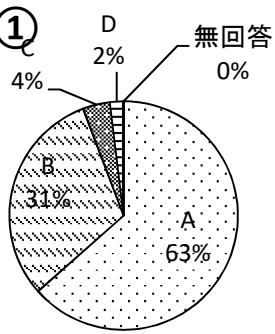
【評価の説明】 A：そう思う B：どちらかというと思う  
C：どちらかというと思わない D：そう思わない

| No. | 質問内容  | A  | B  | C | D | 無回答 |
|-----|---|----|----|---|---|-----|
| 1   | 教職員は、生徒が自分のよいところや課題がわかり、よいところは伸ばし、課題は解決できるように努力している。                | 33 | 16 | 2 | 1 | 0   |
| 2   | 教職員はICTの活用等をとおして、生徒が自分から学ぼうとするように支援している。                            | 23 | 26 | 0 | 3 | 0   |
| 3   | 学習内容は生徒が学校教育目標（働く・自立・自己実現）を達成するために有益な内容となっている。                      | 31 | 20 | 1 | 0 | 0   |
| 4   | 教職員は本校の教育全般を通して、生徒が自信や自己有用感をもてる取組をしている。                             | 28 | 20 | 3 | 1 | 0   |
| 5   | 教職員は本校の教育全般を通して、生徒が他人を思いやる心を育む取組をしている。                              | 27 | 21 | 3 | 1 | 0   |
| 6   | 教職員は生徒の特性やニーズに応じた進路意向や卒業後の生活に向けた相談や情報提供を十分に行っている。                   | 26 | 22 | 3 | 1 | 0   |
| 7   | 教職員は、生徒が社会人・職業人として生活するために必要な体力の向上や、健康管理を行う力の育成に向けた取組を行っている。         | 30 | 19 | 2 | 1 | 0   |
| 8   | 本校のホームページの内容は充実していると思う。   | 17 | 33 | 1 | 0 | 1   |
| 9   | 教職員は、職業基礎等の授業や職場見学・実習を通して、生徒の適切な進路選択に向けて、生徒や保護者に対して十分な知識や情報を提供している。 | 32 | 17 | 2 | 1 | 0   |
| 10  | 職場見学会や現場実習は生徒の就労等の進路選択に向けて意義のある学習機会だと思う。                            | 38 | 13 | 1 | 0 | 0   |
| 11  | 教職員は生徒の人格や人権を尊重して、学習指導・生活指導等を行っていると思う。                              | 27 | 21 | 2 | 1 | 1   |
| 12  | 教職員はいじめ等の問題の起きにくい学校の雰囲気づくりをしていると思                                   | 29 | 19 | 3 | 1 | 0   |

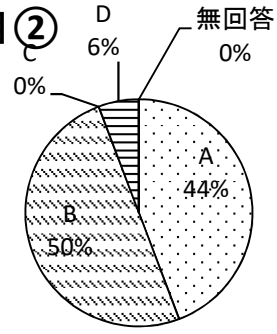
回答数 52

保護者集計結果グラフ

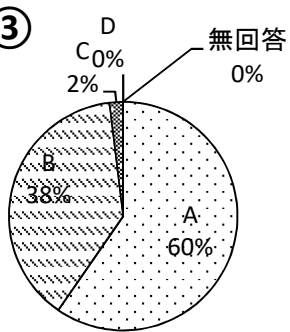
評価項目①



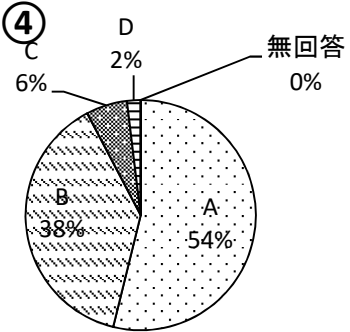
評価項目②



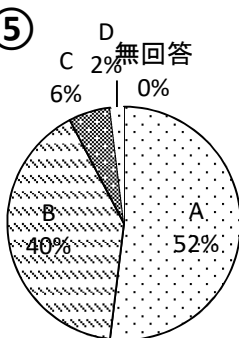
評価項目③



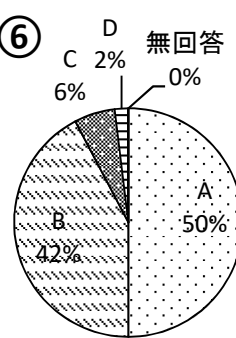
評価項目④



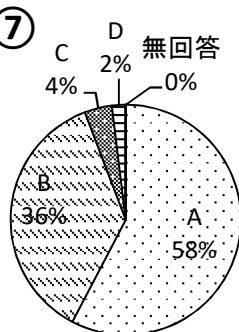
評価項目⑤



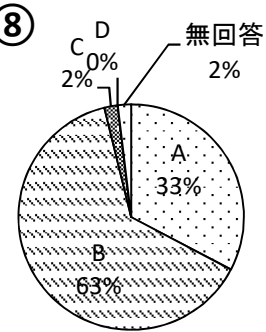
評価項目⑥



評価項目⑦

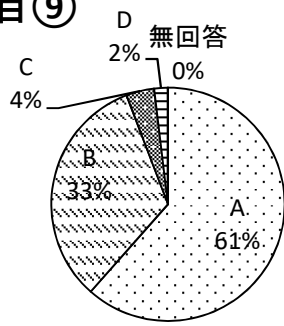


評価項目⑧

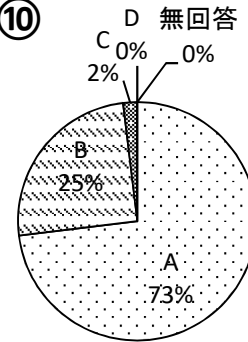


保護者集計結果グラフ

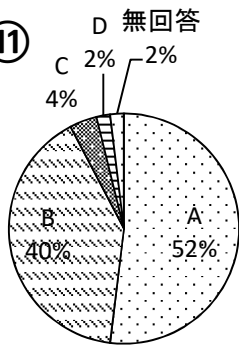
評価項目⑨



評価項目⑩



評価項目⑪



令和5年度 横浜市立二つ橋高等特別支援学校 学校評価(職員自己評価) 集計結果

・評価(A:十分達成できている B:どちらかといえば達成できている  
C:どちらかといえば達成できていない D:達成できていない)

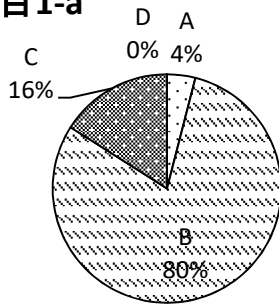
| 中期学校経営方針 |                              | 職員の具体的取組  | A | B  | C  | D |
|----------|------------------------------|---|---|----|----|---|
| 重点的取組分野  | 個に応じた指導・支援(担当:全員、学習指導)       | 1-a 個別の教育支援計画・個別の指導計画をもとに、学校全体で生徒の実態やニーズ、目標、それに基づいた指導内容・方法を共有し実践します。  | 1 | 20 | 4  | 0 |
|          |                              | 1-b 生徒や保護者にも分かりやすく、また関係機関にも有用な個別教育計画の記載内容検討・改善を進めます。【R5追加】生徒の短期目標の共有のため、IEP作成や個別検討会などで検討をおこないます。            | 1 | 17 | 7  | 0 |
|          | 確かな学び(担当:教科担当)               | 2-a ICTの活用等をおして、各教科で生徒一人ひとりが、課題発見や解決など主体的に取り組めるように指導を行います。【R5追加】講義型の授業から対話型の授業づくりを進めます。                     | 0 | 11 | 7  | 1 |
|          |                              | 2-b 職業教科で社会の状況やニーズに応じて、一人ひとりのキャリア発達やニーズを踏まえた指導を行います。  | 1 | 13 | 4  | 1 |
|          | 豊かな心(担当:全員、人権・生徒指導、道徳)       | 3-a 生徒の長所や個性を生かし、人や社会に役立っていることを実感させながら、自信や自己有用感を高める取組を推進します。  | 3 | 16 | 4  | 0 |
|          |                              | 3-b 自他の特性を理解し、相互に生かし支え合える関係づくりを大切にしながら指導を進めます。  | 1 | 18 | 5  | 0 |
|          |                              | 3-c 特別の教科道徳を含めて、学校生活全体で、自分らしい生き方の適切な選択に向けた指導の充実を進めます。【R5追加】また、人権チェックシートを活用し、日々の取組を定期的に、振り返りをしています。          | 1 | 13 | 10 | 0 |
|          | 健やかな体(担当:担任、保健スポーツ科、ほか関連教科等) | 4-a 【R5追加】就労準備性ピラミッドの「健康管理」「生活のリズム」を参考にして、自分の身体や健康についての意識を高め、社会人としての基本的な生活習慣を育てるよう、自己の体調管理や生活管理に関わる取組を進めます。 | 2 | 13 | 4  | 0 |
|          |                              | 4-b スポーツの授業を中心に、楽しみながら体を動かす活動を積極的に取り入れ、健康な体と体力の維持向上を目指した取組を推進します。   | 2 | 14 | 3  | 0 |

| 評価項目                   |   | A   | B  | C  | D |   |
|------------------------|---|---|----|----|---|---|
| 重点的取組分野                | センター的機能の取り組み(担当:連携支援、地域支援)                            | 5-a 特別支援教育コーディネーターを中心に、通常の学校での特別支援教育の充実を目指す研修会やコンサルテーションを行います。  | 2  | 6  | 6 | 0 |
|                        |   | 5-b 小・中学校等の特別支援教育研究会に参加し情報交換等を行いながら、小中高の連携を進めます。  | 1  | 5  | 6 | 2 |
|                        |   | 5-c ホームページを充実させ、特別支援教育の啓発活動を進めます。   | 1  | 8  | 5 | 1 |
|                        | 進路支援(担当:進路支援)   | 6-a 生徒一人ひとりが自分に適した進路を適切に選択できるように、【R5追加】新規の職場開拓や、多様な進路に関する情報をタイムリーに提供するとともに、就労準備性ピラミッドの考え方をもとにした生徒の実態や評価、目標を分かりやすく伝える。 | 2  | 11 | 3 | 1 |
|                        |   | 6-b 生徒が働きながら自立した生活を送り、自己実現に向けた生き方を選択していけるように卒業支援の充実を進めます。【R5追加】また、その支援を通して教職員の就労に関する専門性を向上させます。                       | 2  | 10 | 4 | 0 |
|                        | いじめへの対応(担当:生徒指導、いじめ防止対策検討委員会)                         | 7-a 人権教育に関する研修を実施し、教員自らが生徒一人ひとりの人権を尊重した指導・支援を行うことで、生徒の自他を尊重する態度や言動を育てる。   | 2  | 11 | 3 | 0 |
|                        |   | 7-b 生徒一人ひとりの状況についての記録を作成し、校長を中心に関係職員が情報を共有し連携してチームとして予防的に対応する。  | 4  | 10 | 1 | 1 |
|                        | 人材育成・組織運営(担当:メンターチーム・教務)                              | 8-a キャリアステージに応じた目標設定と役割分担に基づく組織の機能化を進め、また年次研修や校内メンター研等を計画的に実施し同僚性を高める中で、各教員の力量の向上を図ります。                               | 1  | 10 | 5 | 1 |
|                        |   | 8-b 休憩時間の確保、留守番電話対応、【R5追加】定時退勤日、必要な振替休暇の取得を推進するなど、教職員のワークライフバランスを考慮し、様々な業務について教職員が相互に補充しあって学校運営を行う。                   | 2  | 9  | 6 | 0 |
|                        |   | 8-c 「チーム二つ橋」として、教職員一人ひとりの長所を生かし、風通しの良い職場環境になっている。【R5新設】   | 1  | 4  | 9 | 3 |
| 外部連携(担当:教務) 次年度はC研代表者へ | 9-a 社会に開かれた学校を意識して、外部講師の活用を積極的におこないます。                | 1   | 10 | 4  | 0 |   |
|                        | 9-b 校内だけでなく、校外からの受注作業にも積極的にかかわり、地域へ貢献する活動を積極的におこないます。 | 1   | 11 | 3  | 0 |   |

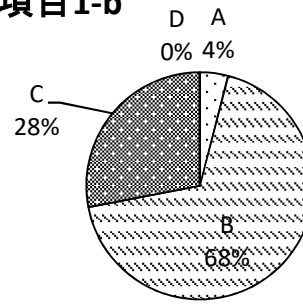
回答数 25

教職員学校評価(グラフ)

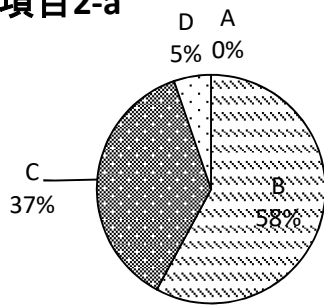
評価項目1-a



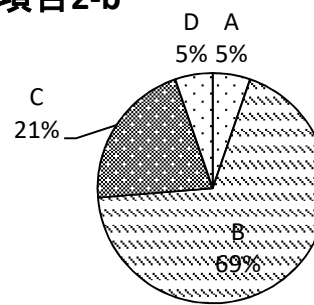
評価項目1-b



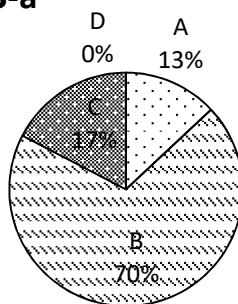
評価項目2-a



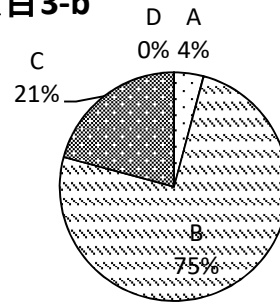
評価項目2-b



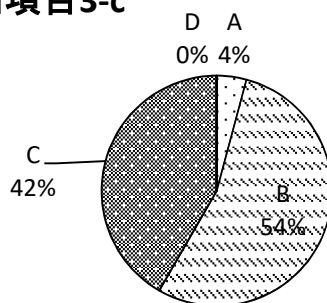
評価項目3-a



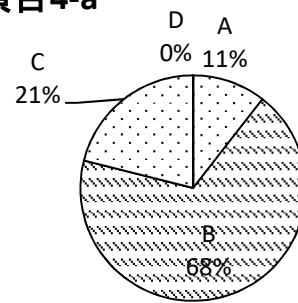
評価項目3-b



評価項目3-c



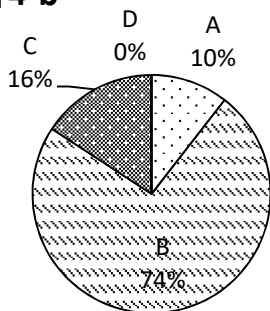
評価項目4-a



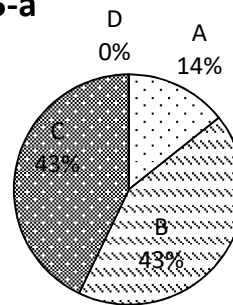


職員集計結果グラフ

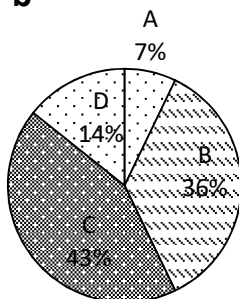
評価項目4-b



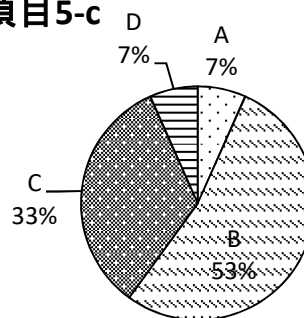
評価項目5-a



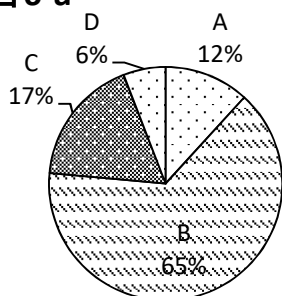
評価項目5-b



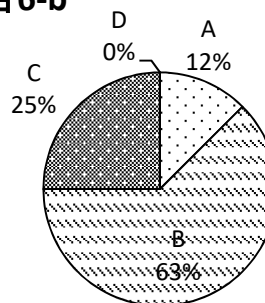
評価項目5-c



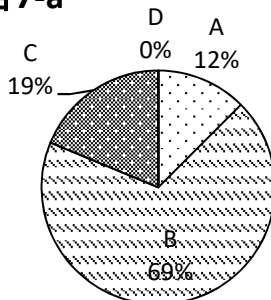
評価項目6-a



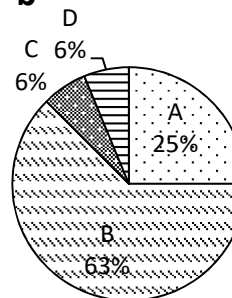
評価項目6-b



評価項目7-a

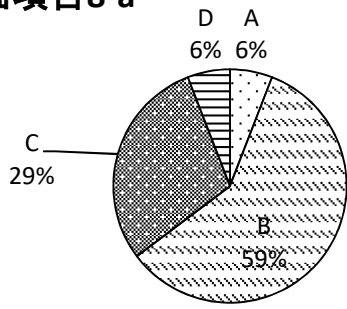


評価項目7-b



職員集計結果グラフ

評価項目8-a



評価項目8-b

